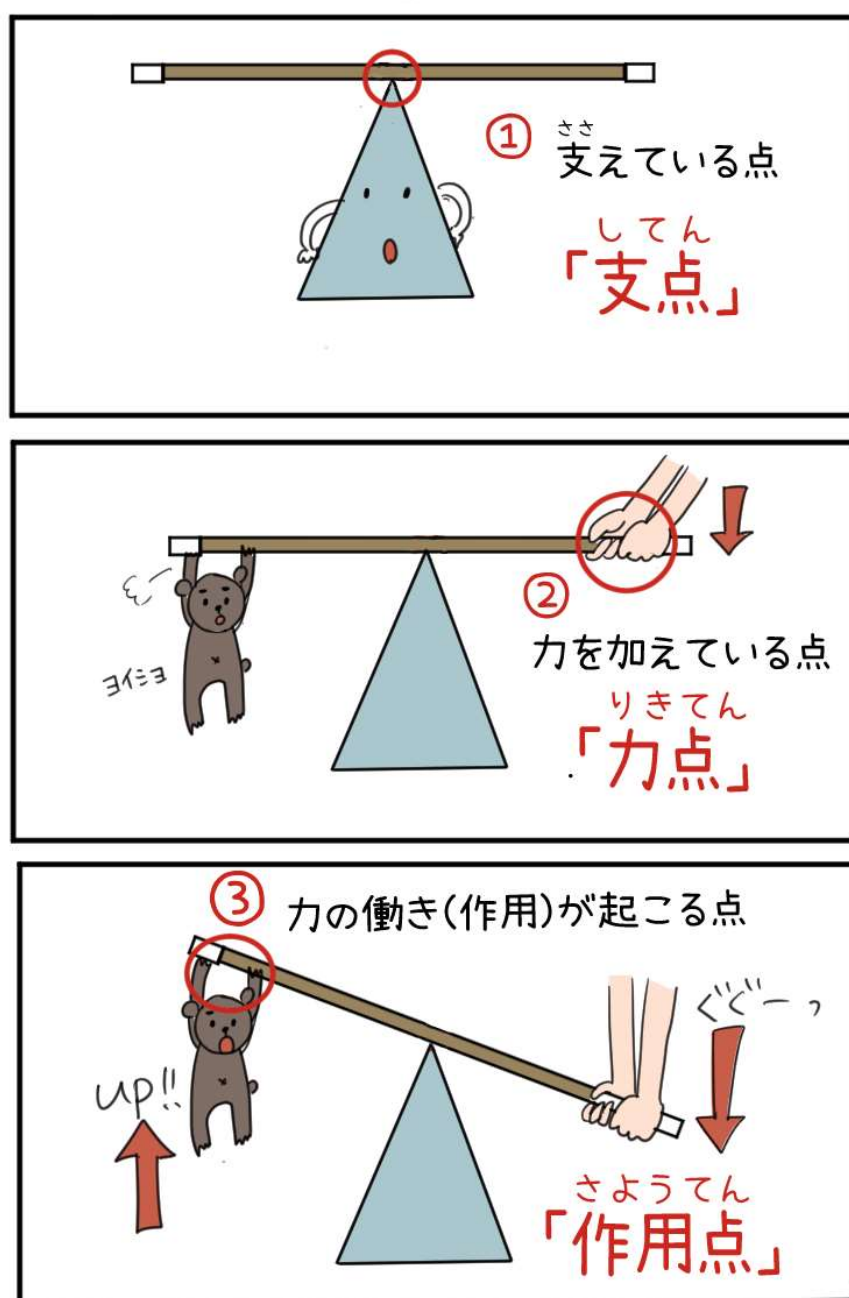


「てこを利用した道具（てこのはたらき）」 わかりやすく解説

「てこを利用した道具」の学習でのポイントになるのは、それぞれの道具のどこが「支点」「力点」「作用点」なのかを理解することだよ！



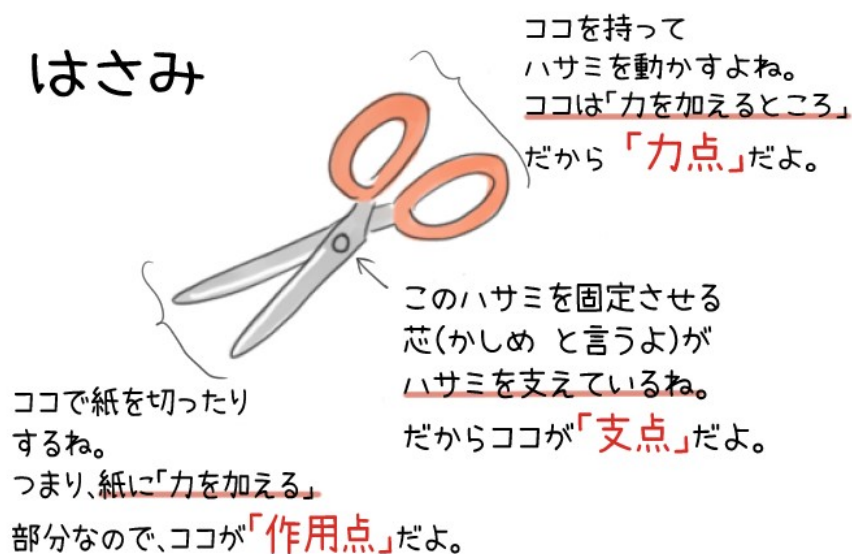
てこを利用した道具

てこの「支点」「力点」「作用点」の場所には、3つのパターンがあるよ。

1. 支点が力点と作用点の間にあるパターン

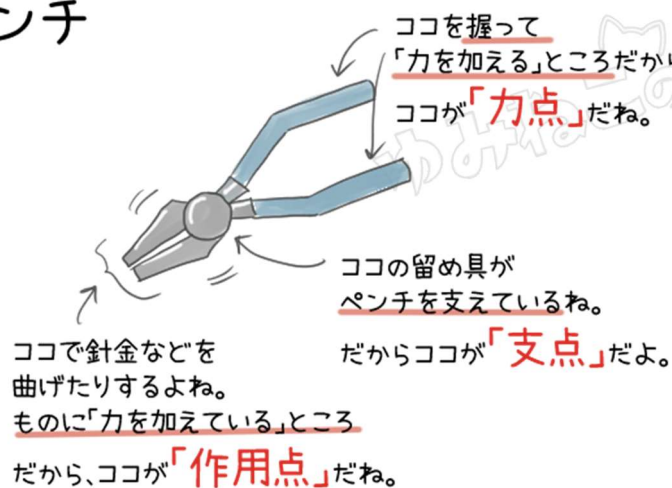
例：ハサミ

はさみ



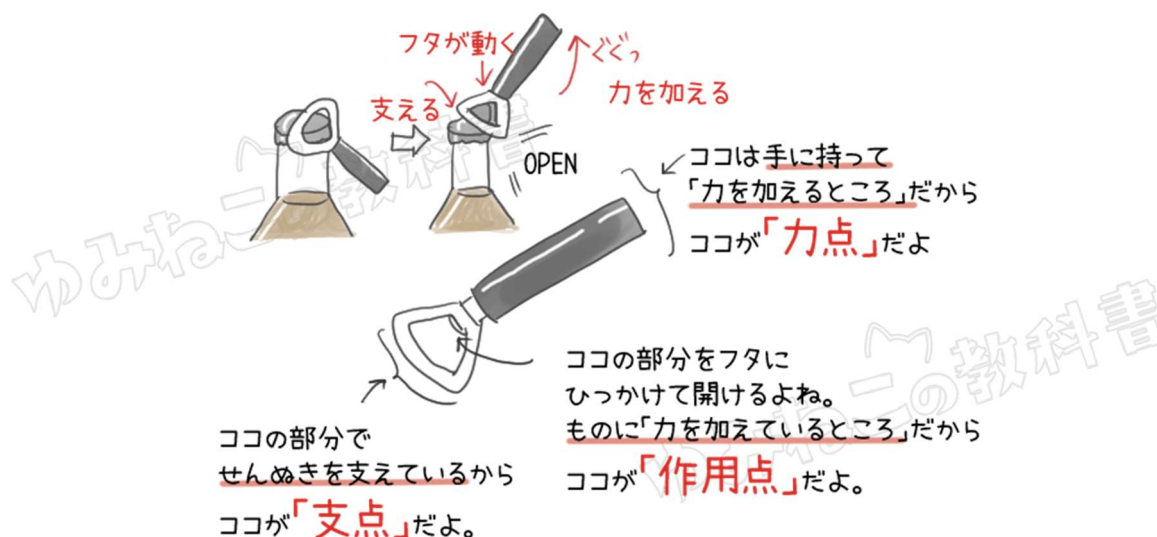
例：ペンチ

ペンチ



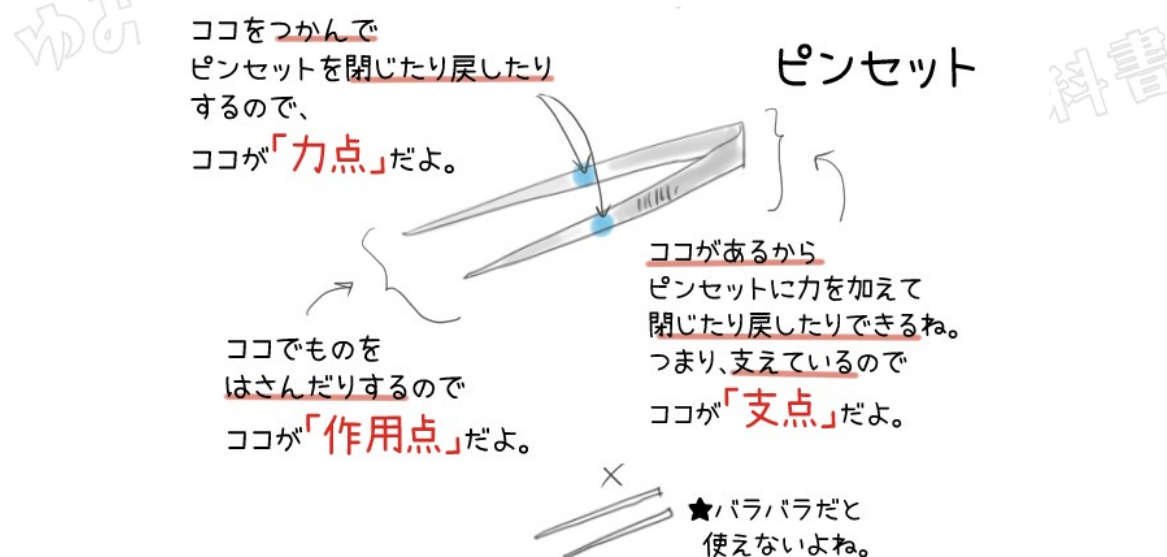
2. 作用点が支点と力点の間にあるパターン

例：せんぬき



3. 力点が支点と作用点の間にあるパターン

例：ピンセット



6年生はココを押さえればOK！

まとめ

てこを利用した道具

「てこ」を利用した道具には、必ず「支点」「力点」「作用点」があるよ。

テストでは、道具のどこが「支点」「力点」「作用点」なのか見分ける必要があるよ。

【見分け方】

「支点」

「てこを使うために、てこが動かないように支える場所」

「てこがバラバラにならないように留めて（とめて）ある部分」

「てこがバラバラにならないように、繋がっている部分」

「力点」

「てこを動かすために、手で持って力を加える場所」

「作用点」

「ものをつかんだり、曲げたり、動かしたり、持ち上げたり…ものに力を加えている部分」

